

柘植地域

まちづくりだより 第183号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

発行日 二〇一七(平成)二十九年二月十五日(水)

柘植地域俳句コーナー
髙く
舞いて山里
日御伸ぶ
辻本幸子

堺市舳松へ
人権フィードバック

へのもつ
人権・同和部会

12月3日(土)、大阪府堺市方面へ人権フィードバックに行きました。



毎年、柘植地域12区合同での人権フィードバック(近隣と遠方の2回)に加えて、部会独自で活動人権活動の先進地にフィードバックを実施しています。

本年度は将棋の阪田三吉の故郷でもある堺市舳松にある「舳松人権歴史館」で地域の歴史・くらし・仕事・部落解放運動などの説明を受け、周辺地域を案内していただきました。



そのあと、結婚により舳松にきたという大原和子さんから、自分の今までの半生や部落解放への思いを聞かせていただきました。



午後には、地域の教育機関と協力し研修や講座を開催して、日常の中にある様々な問題と向き合い人権啓発に取り組んでいける「えんばわめ」と堺の北野真由美さんの参画体験型ワークショップを受講し、人権・同和部会員がそれぞれの地区で活用できるスキルづくりの研修をしました。

へのもつ
舳松人権歴史館ガイド

所在地 〒590-0822 大阪府堺市堺区協和町2-61-1 (人権ふれあいセンター内)

開館時間 9:30~18:30

休館日 月曜(祝休日の場合は開館) 年末年始

入館料 無料

問合せ電話 072-245-2536



いがまち人権・同和問題

地区別懇談会 柘植地域会議

2月1日(月)夜、市民センターで、地区懇談会の柘植地域最終報告会が開催されました。

各地区ならびに小学校・中学校から、今年一年間の地区懇談会活動について報告がありました。

参加者は「人権啓発合同事業」を核に、それぞれ区の実態を出し合い、柘植地域としての課題や成果を共有しました。



上柘植インターから余野公園を通過して 甲賀に抜ける道路の安全性を高めるために...

名神名阪連絡道路の 整備促進を誓う



路整備促進期成同盟会で、岡本栄伊賀市長が主催者を代表して「シンポジウムをきっかけに連絡道路の効果や課題について知ってもらいたい」と挨拶、三重滋賀両県の副知事や関係する国会議員が熱心なあいさつや意見込みを表明しました。名神名阪連絡道路は東近江市の名神蒲生ICから甲賀市の新名神土山ICを経由して上柘植ICを結ぶもので、

1月28日(土)午後、ふるさと会館いがで、伊賀市と滋賀県東近江市を結ぶ名神名阪連絡道路の早期実現に向けたシンポジウムが開催されました。



平成13年に自動車専用道路の調査区間として指定されたものの、現在まで整備に向けた動きが進んでいません。柘植地域にとって、大きなトラックが行きかう上柘植ICから余野公園にかけては、歩道もほとんどなく、生活道路としては危険な状態が続いています。今回、シンポジウムが開かれることで、早期の事業実現をめざしています。

林業イノベーション ～森のめぐみを地域の力に～

森林の魅力を引き出し、 地域の活性化を!

2月8日(水)午後、ゆめテック伊賀で、布引地域自治協が主催(阿波・柘植地域が共催)して林業講演会が開催されました。冒頭、布引地域自治協議会長の福岡さんが「地域を超えて課題を共有し、いっしょに考えいっしょに行動できるなまづくりを進めたい」と挨拶され、続いて大森秀俊副市長からも応援の挨拶がありました。



講演は、和歌山研究林長で京都大学森林育成分野准教授の長谷川尚史さんを講師に、林業の現状をふまえ、「倉庫としての森」という発想で、長期的な視野のサプライチェーンを作っていくという話をしていただきました。

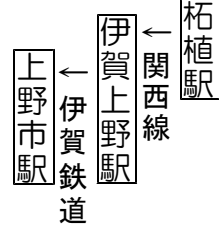
来年度は、伊賀市東部地帯の自治協が協力して「山里連合」の交流を深め、森に目を向けていく予定です。



和・英・中の多言語観光案内板

今年度伊賀市が予算化していた多言語観光案内板が、2月2日(木)、柘植駅に設置されました。すでに伊賀上野駅には設置されており、これにより草津線を利用して訪れる観光客を

へと誘導するものとなっています。



2・3番ホームに設置された多言語案内板



案内板には、「加茂行きに乗り換え」、「伊賀上野駅で伊賀鉄道に乗り換え」、「忍者博物館や上野城は上野市駅が近い」などが記されています。

仮設トイレがホームに設置される

4月からの供用開始を目指して、これまでたたび地域の声としてJR西日本や伊賀市行政に繰り返し要望してきた、「柘植駅のトイレ返しですが、このたびJRにより、男女別トイレとして使えるようにと、改修工事が始まることになりました。

入口は男女別となるものの、便器数は減りません。



仮設トイレ(1番線)

は減りませんが、利用の利便性を高めるために、伊賀市では、仮設トイレの設置を検討しています。

ラッピング列車SHINOBI-TRAIN

歓迎行事

← 電車正面イメージ

2月25日(土)

10:58頃 列車が2番線に到着します!

★貴生川駅から記念乗車をされた方々(約150名)を都美恵太鼓とダンスでお迎えします。ゆるキャラのにん太としのぶも出迎えます。

★午後の部は、14:30頃に駅前で観光ツアー客約120名の方をお迎えします。

15:20 列車が発車します!

見送りをし、その後解散となります。

※スタッフとして参加希望の方は2月21日までに、必ずまち協事務局へご連絡ください。



交通などのテーマも含めて、興味のある方はぜひ参加してください。

柘植駅を核とした公共交通のあり方検討委員会、1カ月にバスなどの運行の話し合い

今後、ハイキング客等の利便性を高めるためにも、「公衆便所化」を地域から要望していきたいと考えています。

女性パワー→まちづくり

伊賀流自治研修会

協働と新たな地域づくりのしくみ



2月2日(木)午後、伊賀で、今年度最後の伊賀市自治研修会が開催されました。当協議会を代表して、西田方計事務局長と岩倉佳子女性部会長が、「女性パワーをま

まとめとして、講師の川北秀人さん(人と組織と地球のための国際研究所)からは、伊賀市の人口動態変化が「予測以上に早く進んでいる」ことを受けて、次のようなことについて、ご指導いただきました。

○人口減・85歳以上増に備えるには、時間の使い方を変えるしかない

- ① 行事の棚卸し
- ② 会議の棚卸し
- ③ 組織の棚卸し

○次の10年に求められる

自治組織の機能?

- ① 人口構造の見直し(予測)をつくる!
- ② 住民調査で「事業・サービスへの評価」と「困りごと・不安」「これなら手伝える」の確認!
- ③ 部会は、継続より進化・再編を!

そう遠くない将来を展望して、柘植地域まちづくり協議会としても、各区と強く連携して、これからの地域社会をよりよい方向に持って行けるように、取り組んでいかなければならないと考えています。

つげのまちに賑わいを!

ひな人形展のお知らせ

女性部会

日時 3月3日(金)～6日(月)

午前10時～午後4時

場所 柘植地区市民センター和室

◎3月3日(金)は、お茶席(抹茶と和菓子300円)があります。

◎3月4～5日

★まちづくり活動の展示

- ① 黒豆加工品の販売
- ② 齋王なりきり体験

(大人・子ども用あり)

★同時開催

地域の能面愛好家による
新作能面狂言展

今年「秋の齋王群行」をひな人形で表現します。

また、市民センターでの展示に先駆けて、2月後半からは、地域の商店・金融機関・医院など約30カ所に展示させていただきます。



近々、ホームページにマップを掲載しますので、ぜひ見に来てください。

★★★事務局だより★★★
▼「保育園跡地活用計画最終案」がまとまりました。一日も早い実現をめざして取り組む予定です。▼1階右下に、柘植地域俳句コーナーを設けることにしました。(西田方計)

